

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 20 日

新潟県知事 殿

提出者

住所 新潟県長岡市浦6364番地第5

氏名 株式会社 永井工業

代表取締役社長 水澤 一昌

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0258-92-3145

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 永井工業
事業場の所在地	新潟県長岡市浦6364番地第5
計画期間	令和 7 年 4 月 1 日 から 令和 8 年 3 月 31 日 まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合建設業
②事業の規模	41億円
③従業員数	109名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none">・コンクリート破片 砕石として再生処理業者へ委託 → 再資源化・アスファルト・コンクリート破片 合材として再生処理業者へ委託 → 再資源化・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器類 再生処理業者へ委託 → 破碎しガラスや路盤材として再利用・塩化ビニル製建設資材 再生プラスチックの再生処理業者へ委託 → 破碎し原料として再資源化・金属クズ 分別を行い再生処理業者へ委託 → 切断を行い売却・建設汚泥 建設汚泥の再生処理業者へ委託 → 固形化し再資源化・建設工事の紙くず 再生処理業者へ委託 → 再資源化・木くず 再生処理業者へ委託 → 破碎し木材チップとして再利用・汚泥 再生処理業者へ委託 → 造粒固化し土木資材として再資源化・燃え殻 処理業者へ委託 → 最終処分埋立・廃油 処理業者へ委託 → 油水分離後、再生油として処理業者が利用・管理型混合廃棄物 再生処理業者へ委託 → 選別等を行い再資源化

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

職務	総括責任者	代表取締役社長
	廃棄物担当者(現場責任者)	現場代理人・現場責任者
	産業廃棄物担当事務	産業廃棄物に関する事務
役割	総括責任者	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物処理に関する検討 発生抑制、再生処理、適正処理の推進及び計画的な管理運営を行う上で必要な事項を検討する。
	廃棄物担当者(現場責任者)	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物処理方針の算定 委託契約先の検討、決定 産業廃棄物収集運搬委託及び処理委託の適正な管理運営
	産業廃棄物担当事務	<ul style="list-style-type: none"> 現場責任者依頼の各委託契約書の作成、締結 産業廃棄物管理票の交付、管理集計 産業廃棄物実績報告書の作成・提出

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度 (6 年度) 実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器類	廃プラスチック	金属くず	汚泥	紙くず	木くず	石綿
	排出量	1,179.89 t	0.94 t	14.03 t	12.38 t	34.36 t	1.60 t	266.03 t	8.32 t
	産業廃棄物の種類	水銀使用産業廃棄物	廃油	管理型混合廃棄物	—	—	—	—	—
	排出量	0.01 t	0.11 t	296.17 t	— t	— t	— t	— t	— t
(これまでに実施した取組)									
特になし									
② 計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器類	廃プラスチック	金属くず	汚泥	紙くず	木くず	石綿
	排出量	1,061.90 t	0.85 t	12.63 t	11.14 t	30.92 t	1.44 t	239.43 t	7.49 t
	産業廃棄物の種類	水銀使用産業廃棄物	廃油	管理型混合廃棄物	—	—	—	—	—
	排出量	0.01 t	0.10 t	266.55 t	— t	— t	— t	— t	— t
(今後実施する予定の計画)									
再生利用等を行うことにより、その減量に努めるとともに、施工方法を検討し廃棄物発生量の抑制を目標とする。									

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	各現場にて排出された廃棄物の分別を行い、適正な処理業者へ搬出する。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	各現場にて排出された廃棄物の分別を行い、適正な処理業者へ搬出する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（6年度）実績】								
産業廃棄物の種類	がれき類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器類	廃プラスチック	金属くず	汚泥	紙くず	木くず	石綿
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t
産業廃棄物の種類	水銀使用産業廃棄物	廃油	管理型混合廃棄物	—	—	—	—	—
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t
(これまでに実施した取組)								
産業廃棄物業者ではないため 自ら再生資源利用は行わない								
【目標】								
産業廃棄物の種類	がれき類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器類	廃プラスチック	金属くず	汚泥	紙くず	木くず	石綿
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t
産業廃棄物の種類	水銀使用産業廃棄物	廃油	管理型混合廃棄物	—	—	—	—	—
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t
(今後実施する予定の計画)								

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（6年度）実績】								
産業廃棄物の種類	がれき類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器類	廃プラスチック	金属くず	汚泥	紙くず	木くず	石綿
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t
産業廃棄物の種類	水銀使用産業廃棄物	廃油	管理型混合廃棄物	—	—	—	—	—
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t
(これまでに実施した取組)								
産業廃棄物業者ではないため 自ら中間処理は行わない								
【目標】								
産業廃棄物の種類	がれき類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器類	廃プラスチック	金属くず	汚泥	紙くず	木くず	石綿
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t
産業廃棄物の種類	水銀使用産業廃棄物	廃油	管理型混合廃棄物	—	—	—	—	—
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t
(今後実施する予定の計画)								

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（6年度）実績】								
産業廃棄物の種類	がれき類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器類	廃プラスチック	金属くず	汚泥	紙くず	木くず	石綿
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t
産業廃棄物の種類	水銀使用産業廃棄物	廃油	管理型混合廃棄物	—	—	—	—	—
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t
(これまでに実施した取組)								
産業廃棄物業者ではないため、自ら埋立処分及び海洋投入処分は行わない。								
【目標】								
産業廃棄物の種類	がれき類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器類	廃プラスチック	金属くず	汚泥	紙くず	木くず	石綿
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t
産業廃棄物の種類	水銀使用産業廃棄物	廃油	管理型混合廃棄物	—	—	—	—	—
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t
(今後実施する予定の計画)								

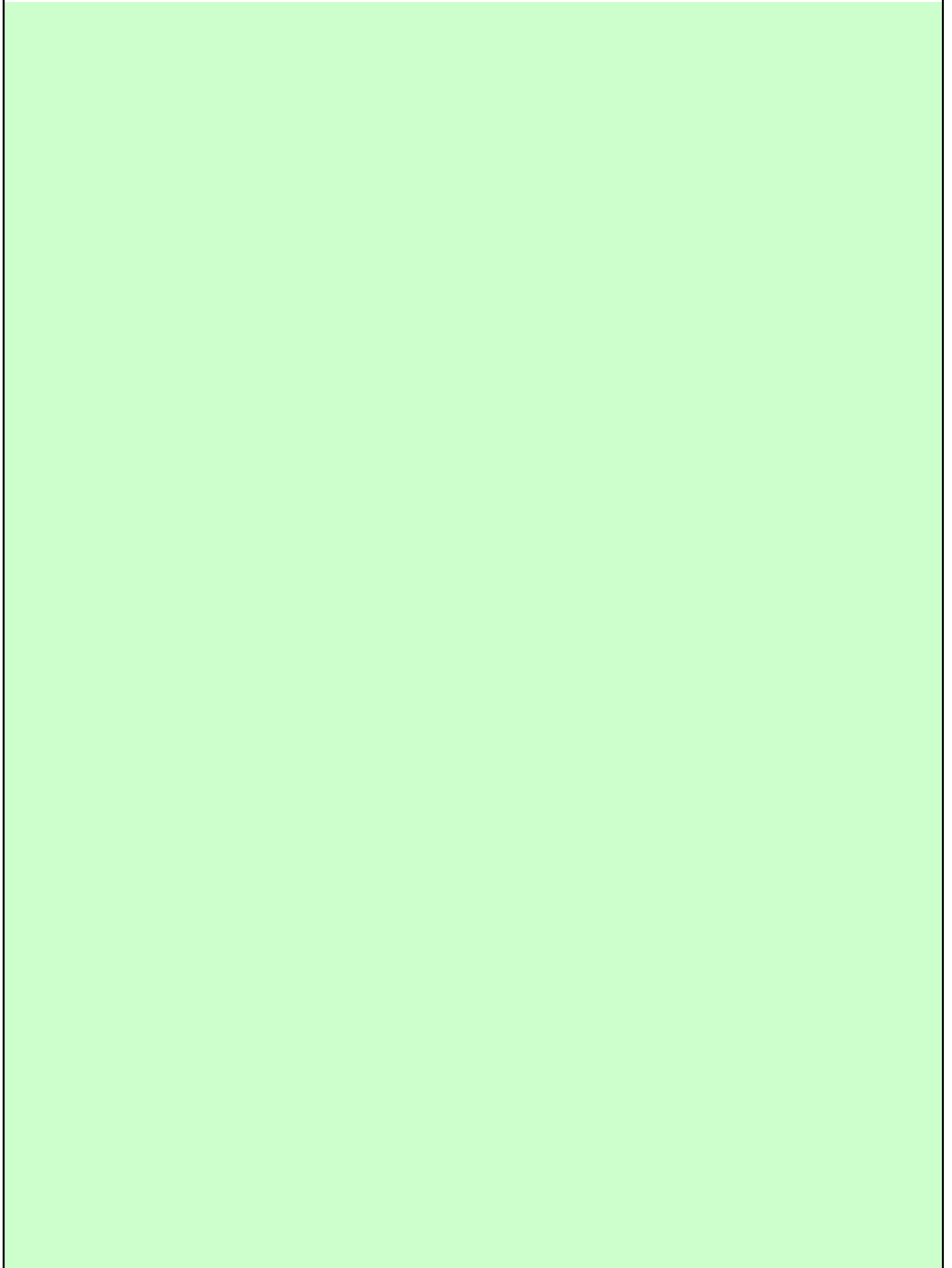
産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（6年度）実績】								
産業廃棄物の種類	がれき類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器類	廃プラスチック	金属くず	汚泥	紙くず	木くず	石綿
全処理委託量	1,179.89 t	0.94 t	14.03 t	12.38 t	34.36 t	1.60 t	266.03 t	8.32 t
優良認定処理業者への処理委託量	172.56 t	0.94 t	11.78 t	0.00 t	0.00 t	0.59 t	17.32 t	0.00 t
再生利用業者への処理委託量	1,007.33 t	0.00 t	2.25 t	12.38 t	34.36 t	1.01 t	248.71 t	8.32 t
認定熱回収業者への処理委託料	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
産業廃棄物の種類	水銀使用産業廃棄物	廃油	管理型混合廃棄物	—	—	—	—	—
全処理委託量	0.01 t	0.11 t	296.17 t	— t	— t	— t	— t	— t
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	91.86 t	— t	— t	— t	— t	— t
再生利用業者への処理委託量	0.01 t	0.11 t	204.31 t	— t	— t	— t	— t	— t
認定熱回収業者への処理委託料	0.00 t	0.00 t	0.00 t	— t	— t	— t	— t	— t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	— t	— t	— t	— t	— t
(これまでに実施した取組)								
特になし								

① 計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器類	廃プラスチック	金属くず	汚泥	紙くず	木くず	石綿	
	全処理委託量	1,061.90 t	0.85 t	12.63 t	11.14 t	30.92 t	1.44 t	239.43 t	7.49 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	159.29 t	0.85 t	10.60 t	0.00 t	0.00 t	0.50 t	15.56 t	0.00 t	
	再生利用業者への処理委託量	902.61 t	0.00 t	2.03 t	11.14 t	30.92 t	0.94 t	223.86 t	7.49 t	
	認定熱回収業者への処理委託料	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
	産業廃棄物の種類	水銀使用産業廃棄物	廃油	管理型混合廃棄物	—	—	—	—	—	
	全処理委託量	0.01 t	0.10 t	266.55 t	— t	— t	— t	— t	— t	
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	215.91 t	— t	— t	— t	— t	— t	
	再生利用業者への処理委託量	0.01 t	0.10 t	50.65 t	— t	— t	— t	— t	— t	
	認定熱回収業者への処理委託料	0.00 t	0.00 t	0.00 t	— t	— t	— t	— t	— t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	— t	— t	— t	— t	— t	
(今後実施する予定の取組)										
産業廃棄物発生量の削減及び再利用の促進に努める。										
※事務処理欄										

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。



産業廃棄物処理計画書（集計用シート）

提出者の名称	株式会社 永井工業 業代表取締役社長 水澤 一昌	提出者の住所	新潟県長岡市浦6364番地第5
事業場の名称	株式会社 永井工業	事業場の所在地	新潟県長岡市浦6364番地第5
内容年度	7 年度		

(単位:トン)

廃棄物の種類	現状 / 計画	排出量 A	自社内での処理状況				委託先での処理状況				
			自己再生 利用量 B	うち熱 回収量 C	自己中間 処理 減量化量 D	自己最終 処分量 E	全処理 委託量 F	委託処理量のうち委託先毎の量			
								優良認定 処理業者 への処理 委託量 G	再生利用 業者への 処理 委託量 H	熱回収 認定業者 への処理 委託量 I	熱回収 認定業者 以外の熱 回収を行 う業者へ の処理 委託量 J
がれき類	現状	1,179.89	—	—	—	—	1,179.89	172.56	1,007.33	0.00	0.00
	計画	1,061.90	—	—	—	—	1,061.90	159.29	902.61	0.00	0.00
ガラスくず・コンクリートくず及び 陶磁器類	現状	0.94	—	—	—	—	0.94	0.94	0.00	0.00	0.00
	計画	0.85	—	—	—	—	0.85	0.85	0.00	0.00	0.00
廃プラスチック	現状	14.03	—	—	—	—	14.03	11.78	2.25	0.00	0.00
	計画	12.63	—	—	—	—	12.63	10.60	2.03	0.00	0.00
金属くず	現状	12.38	—	—	—	—	12.38	0.00	12.38	0.00	0.00
	計画	11.14	—	—	—	—	11.14	0.00	11.14	0.00	0.00
汚泥	現状	34.36	—	—	—	—	34.36	0.00	34.36	0.00	0.00
	計画	30.92	—	—	—	—	30.92	0.00	30.92	0.00	0.00
紙くず	現状	1.60	—	—	—	—	1.60	0.59	1.01	0.00	0.00
	計画	1.44	—	—	—	—	1.44	0.50	0.94	0.00	0.00
木くず	現状	266.03	—	—	—	—	266.03	17.32	248.71	0.00	0.00
	計画	239.43	—	—	—	—	239.43	15.56	223.86	0.00	0.00
石綿	現状	8.32	—	—	—	—	8.32	0.00	8.32	0.00	0.00
	計画	7.49	—	—	—	—	7.49	0.00	7.49	0.00	0.00
水銀使用産業廃棄物	現状	0.01	—	—	—	—	0.01	0.00	0.01	0.00	0.00
	計画	0.01	—	—	—	—	0.01	0.00	0.01	0.00	0.00
廃油	現状	0.11	—	—	—	—	0.11	0.00	0.11	0.00	0.00
	計画	0.10	—	—	—	—	0.10	0.00	0.10	0.00	0.00
管理型混合廃棄物	現状	296.17	—	—	—	—	296.17	91.86	204.31	0.00	0.00
	計画	266.55	—	—	—	—	266.55	215.91	50.65	0.00	0.00
—	現状	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	現状	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	現状	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	現状	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	現状	1,813.84	0.00	0.00	0.00	0.00	1,813.84	295.05	1,518.79	0.00	0.00
	計画	1,632.46	0.00	0.00	0.00	0.00	1,632.46	402.71	1,229.75	0.00	0.00